

コード	30501
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	総合的な支援体制整備
--------	------------

総合計画の位置付け	
政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実
施策名称	共に歩む障害者福祉の推進

課コード	110	関係課名
主管課名	福祉長寿課	

基本事業の目的

障害者自立支援法の施行に伴い、障害の種別（身体、知的、精神）にかかわらず、障害のある方が必要とする福祉サービスを利用できるよう、日中活動の場やグループホーム等の整備を進め、障害者が地域で自立して暮らすことができるサービス提供基盤の整備を推進する。

基本事業の成果

成果指標名称 1	知的障害者グループホームの充実	成果指標名称 2	心身障害者小規模作業所の充実			
成果指標の積算根拠	実績値÷目標値	成果指標の積算根拠	実績値÷目標値			
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度			
目標達成数値	5箇所	目標達成数値	2箇所			
年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
成果指標 1	目標 A	箇所 1	1	5	5	5
	実績 B	箇所 1	1	1	1	
	達成率 B/A	% 100.0	100.0	20.0	20.0	
成果指標 2	目標 A	箇所 2	2	2	2	2
	実績 B	箇所 2	2	2	2	
	達成率 B/A	% 100.0	100.0	100.0	100.0	

1次評価	現状	障害者自立支援法の施行に伴い、町内の小規模作業所は新体系へ移行、地域活動支援センターとして事業を委託することにより、町内の障害者に対して日中の活動の場を提供している。また、グループホームについては、障害者福祉計画に具体的数値目標を設定し、整備に向けた準備を進めている。
	課題	日中活動において生産された商品を販売することにより、利用者は工賃収入を得ているが、偏見や販路の狭さからわずかな工賃となっている。行政としても偏見の解消や販路拡大のための支援等に取り組む必要がある。また、グループホームにおいても同様に、整備を進める中で、地域の理解を得るための啓発に取り組む必要がある。
	改善	町、福祉事務所、保健所等の関係機関の連携を図り、支援体制を確立していくことと、今後どのような事業を推進していくかを関係機関で協議していく必要がある。
2次評価		障害者福祉計画を基本に、関係する機関・団体と連携し各種施策を充実させていくこと。また、きめ細かな事業展開を目指しながら、総合的な支援体制を整備して安心して暮らせる環境を構築していくこと。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	305010101	身体障害者住宅改造助成事業	福祉長寿課	0千円	(途中) このまま事業を継続
2	305010102	福祉電話基本料金助成事業	福祉長寿課	8千円	(途中) 類似事業と整理統合
3	305010201	手をつなぐ育成会補助事業	福祉長寿課	308千円	(途中) 事業費を見直して継続
4	305010301	身体障害者協会運営費補助事業	福祉長寿課	524千円	(途中) 事業費を見直して継続
5	305010601	心身障害者見舞金支給事業	福祉長寿課	8,007千円	(途中) 事業費を見直して継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				8,847千円	